

ムニール・チャウドリー 研究員 (バングラデシュ)



はじめまして。私はバングラデシュから来ましたムニール・チャウドリーと申します。私は 2008 年 4 月からバングラデシュの食糧防災省の防災救援課で次官補として働いています。

母国での私のキャリアとしましては、まずダッカ大学経営大学院において MBA を取得しました。そして、イングランドのバーミンガム大学において開発に関する修士号を取得し、アメリカにおいても同様の課程を取得しました。

私の現職における職務は、防災に関する政策や計画の検討と実行、災害リスク軽減に関するガイドラインの策定、そして災害時における救援物資の供給や、セーフティネットのプログラムに携わる業務を行っています。また、他機関と連携した災害リスク軽減 (DRR) 活動の担当も担っています。

皆様もご存じの通り、バングラデシュは世界的にみても、自然災害が毎年多く発生している地域です。特に海岸地域においては、洪水やサイクロン、暴風雨が頻繁に直撃し、同地域は災害に対して脆弱であるため、そこに住む住民の方々は多くの被害を受けています。これらの状況から、より良い社会の構築のためには、自然災害のリスクを軽減することを検討することが必要だといえます。特に、生活復興支援に関するセーフティネットにつきましては、バングラデシュ政府は非常に重要視していて、災害後の復興及び復旧のための社会構築プログラムのための支援制度の確立が必要だと考えています。日本で実践されている、短期・中期・長期を含んだ復興プログラム活動は、バングラデシュにおける DRR 実現のための、知識の向上に良い影響を及ぼすことになると思います。